

テイカ

テイカは、世界シェア首位を握る微粒子酸化チタン・酸化亜鉛をはじめ、無機系材料や各種表面処理製品などの化粧品原料を成長事業の一つに位置づける。時代のニーズに合った多彩な製品を全世界に供給し、創立100周年が最終年度の長期ビジョン「Challenge 100」の目標達成へとまい進する。

テイカは岡山工場（岡山市）で微粒子酸化チタン・酸化亜鉛を生産し、熊山工場（岡山県赤磐市）と長船分工場（同瀬戸内市）で化粧品へのなじみややすさや感触を高める表面処理を手掛ける。熊山工場敷地内で昨年5月に表面処理工程の専用設備を増設し、生産能力を従来の約2倍に高めた。日焼け止めが「OTC医薬品」に分類される米国などは原料も厳しい品質管理が求められる。テイカは業界に先駆け国際的な製造品質管理基準「原薬GMP」に基づき管理体制を敷き、

化粧品グローバル企業から「安心して使用できる原料」と信頼を得ている。さらに欧州で化粧品向け酸化チタン・酸化亜鉛の使用基準が制定されたのを受け、ほぼ全製品が対応できる強みを生かして需要を取り込む。

東京・日本橋の研究室「テイカ東京クリエーションラボトリー」は昨年5月の開設以来、国内外から化粧品企業が詰め掛ける。常時2〜3人体制で自社製品の情報提供や処方開発の支援を行い、そこで得たニーズを岡山研究所（岡山

市）にフィードバックして提案の幅を広げる好循環を生み出している。来年に向け、顧客視点に立った新製品の投入準備も進めている。

昨年の新製品では化粧品崩れを抑えるパウダー「THT E304」、さっぱりとしたつけ心地の日焼け止めにも透明感を保つ微粒子酸化チタンの水分散体「WTF02」などの出足が好調だ。

国際的品質管理基準に対応